

防除ニュース (2011年/11月上旬~12月上旬)

※麦

●播種耕起前 播種耕起前の雑草生育期(雑草茎葉散布10a当たり使用量)

- ・プリグロックスL(毒) 1000ml・バスタ液剤 500ml……播種前
散布水量 100~120Lに溶き散布する(雑草の茎葉全体に均一にかかるように散布する)
- ・ラウンドアップマックスロード 500ml…雑草生育耕起前日まで使える!(オオスズメノカタビラ、イモクサ対策)
散布水量25~100L 少量散布専用ノズル(ラウンドノズル)で散布する。

●播種後土壌処理 10a当たり使用量

◎スズメノテッポウその他一年生雑草(土壌処理)

- ・ムギレンジャー乳剤 400~500ml/100L/1回播種後~出芽前まで(雑草発生前)
- 注、砂壤土では、黄化、生育抑制を生じる場合があるので、低めの薬量で使用してください。特に裸麦に影響
- ・ボクサー乳剤 400~500ml/100L/1回播種後~麦2葉期まで(雑草発生前~雑草発生始期)
 - ・バンバン乳剤(小麦のみ) 500ml/10a/100L/1回播種後~出芽前まで(雑草発生前)
※ムギレンジャー、ボクサー、バンバンは、抵抗性スズメノテッポウ及びスズメノカタビラに効果有り
 - ・トレファノサイド乳剤 250~500ml・ゴーゴサン乳剤 500ml・ガレース乳剤 200~250ml
散布水量 100~120Lに溶き散布する(散布むらのないよう均一に散布する)
 - ・トレファノサイド粒剤2.5 5kg・ゴーゴサン細粒剤F 5kg・ガレースG 5kg
- #### ◎スズメノテッポウその他一年生雑草(土壌・茎葉処理)
- ・ハーモニー細粒剤F 4~5kg(麦1~3葉期 雑草発生前~発生始期)ヤエムグラは効果劣る

※果 樹

●カンキツ

◎普通温州

・貯蔵病害(青かび病、緑かび病)(2回目 11月上旬)

- ベフラン液剤25(劇) 2000倍(前/2)+ベンレート水和剤 4000倍(前/5)又は
トップジンM水和剤 2000倍(前/4)・ベフトップジンフロアブル(劇) 1500倍(7/3)

◎中晩柑(伊予柑、ネーブル、清見、デコポン、八朔、甘柑)

・防除時期 1回目 伊予柑、ネーブル、清見、デコポン-11月中旬 八朔、甘柑-11月中下旬

- ・ハダニ類 マイトコーネフロアブル 1000倍(7/1)
(アリエッティと混用する場合は、マイトコーネを先に溶く)
- ・サビダニ コロナフロアブル 500倍(-/4)(着色促進 高温時は薬害注意)
- ・浮皮対策 フィガロン 4000倍又は、カルキング 500倍

・防除時期 2回目 伊予柑、ネーブル、清見、デコポン-11月下旬 八朔、甘柑-12月上中旬

・貯蔵病害(青かび病、緑かび病)(2回目 11月上旬)

- ベフラン液剤25(劇) 2000倍(7/2)+ベンレート水和剤 4000倍(7/4)又は
トップジンM水和剤 2000倍(14/5)・ベフトップジンフロアブル(劇) 1500倍(7/2)

注、ベフラン液剤と石灰硫黄合剤を混用する場合は、まずベフラン液剤の希釈液を作りかきまぜながら石灰硫黄合剤を入れる。

ベフラン液剤とトップジンM水和剤、ベンレート水和剤を混用する場合は、トップジンM水和剤、ベンレート水和剤を先に溶かす。

- ・へた落ち防止 マディクEW 2000倍(-/1) 収穫開始20~10日前

注、調整した薬液は、その日のうちに使用する。

◎異常発生

・サビダニ(秋の高温時、コロナフアブルの散布は葉害を生じるおそれがあるので下記の薬剤を使用する)			
	ハチハチフアブル(劇)	3000倍(前/2)	・コテツフアブル(劇) 6000倍(前/2)
・褐色腐敗病	アリエッティ水和剤	500倍(前/3)	秋雨が続く時は、発生するので注意する

●ナシ

・カイガラムシ類、ハダニ類			
	トモノールS(マシン97%)	50倍(発芽前/3)	

●ブドウ

・トラカミキリムシ	モスピラン水溶剤(劇)2000倍(収穫後/2)	・トラサイドA乳剤	200倍(発芽前/2)
	加用アプローチBI	2000倍	

■お茶

・カンザワハダニ	コテツフアブル(劇)	2000倍(7/2)	
----------	------------	------------	--

※野 菜

※防除薬剤の安全使用基準を厳守すること。
(収穫〇日前までの使用期限／栽培期間中に使用できる回数)

●キュウリ

・炭そ病 褐斑病	ダコニール1000	1000倍(前/8)	・アミスター20フアブル	2000倍(前/4)
	ゲッター水和剤	1500倍(前/5)	・ベルコート水和剤	2000倍(前/5)
	ダイアメリットDF	1000倍(前/3)	・スミブレンド水和剤	1500倍(前/5)
・灰色かび病	スミレックス水和剤	2000倍(前/6)	・カンタストライフアブル	1500倍(前/2)
	アフエツフアブル	2000倍(前/3)	・ジャストミート顆粒水和剤	2000倍(前/3)
・べと病	ダコニール1000	1000倍(前/8)	・ライメイフアブル	4000倍(前/4)
	ホライズンドライフアブル	2500倍(前/3)	・ベトファイター顆粒水和剤	2000倍(前/3)
・斑点細菌病	キノンドーフアブル	1200倍(前/5)	・カップパーシン水和剤	1000倍(前/5)
	ナレート水和剤	1000倍(前/3)	・ビスダイセン水和剤	600倍(前/2)
・うどんこ病	ラリー水和剤	8000倍(前/5)	・トリフミン水和剤	3000倍(前/5)
	アフエツフアブル	2000倍(前/3)	・ストロビーフアブル	3000倍(前/3)
	ベルコート水和剤	2000倍(前/5)	・ダイアメリットDF	1500倍(前/3)
	ダイマジン水和剤	1500倍(前/3)	・パンチョTF顆粒水和剤	2000倍(前/2)
・アブラムシ類	チェス顆粒水和剤	5000倍(前/3)	・モスピラン水溶剤(劇)	4000倍(前/3)
	アルバリン顆粒水溶剤	3000倍(前/2)	・ハチハチ乳剤(劇)	1000倍(前/2)
	アドマイヤーフアブル(劇)	4000倍(前/3)	・ベストガード水溶剤	1000倍(前/3)
・ハモグリバエ類	アフアーム乳剤	2000倍(前/2)	・プレオフアブル	1000倍(前/2)
	プレバゾンフアブル	2000倍(前/3)	・アグロスリン乳剤(劇)	1000倍(前/5)
	スピノエース顆粒水和剤	5000倍(前/2)	・カスケード乳剤	2000倍(前/4)
・コナジラミ類	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍(前/2)	・モスピラン水溶剤(劇)	2000倍(前/3)
	トレボン乳剤	1000倍(前/3)	・ハチハチ乳剤(劇)	1000倍(前/2)
・アザミウマ類	ダントツ水溶剤	2000倍(前/2)	・スピノエース顆粒水和剤	5000倍(前/2)
	コテツフアブル(劇)	2000倍(前/2)	・アフアーム乳剤	2000倍(前/2)
	カスケード乳剤	2000倍(前/4)	・ハチハチ乳剤(劇)	1000倍(前/2)

・アミスター、ストロビーには、湿展性を高める展着剤(スカッシュ、ブラホ、アプローチBI他)葉害のおそれがあるので使用しない。

・耐性菌の発生回避のため同一系統薬剤の連用は避ける。(トリフミン、パンチョTF)

●ミニトマト

・葉かび病	アフェットフロアブル ゲッター水和剤	2000倍(前/3)・カンタストライフロアブル 1500倍(前/3)・トリフミン水和剤	1500倍(前/3) 3000倍(前/5)
・灰色かび病	カンタストライフロアブル ゲッター水和剤	1500倍(前/3)・アフェットフロアブル 1500倍(前/3)・ロブラール水和剤	1000倍(前/3) 1000倍(前/3)
・うどんこ病	カリグリーン水和剤	1000倍(前/-)・アフェットフロアブル	4000倍(前/3)
・疫病	ライメイフロアブル レーバスフロアブル	4000倍(前/4)・ベトファイター顆粒水和剤 2000倍(前/3)・リドミル銅水和剤	2000倍(前/3) 500倍(前/3)
・ハモグリバエ類	ディアナSC プレバソフフロアブル	3000倍(前/2)・ダントツ水溶剤 2000倍(前/3)・トリガード液剤	2000倍(前/3) 1000倍(前/2)
・ハダニ類	マイトコーネフロアブル	1000倍(前/1)・コテツフロアブル(劇)	1500倍(21/1)
・コナジラミ類	アルバリン顆粒水溶剤 ハチハチ乳剤(劇)	3000倍(前/2)・モスピラン水溶剤(劇) 2000倍(前/2)・マッチ乳剤	2000倍(前/3) 2000倍(前/2)
・ミカンキアザミウマ	ハチハチ乳剤(劇)	2000倍(前/2)・カスケード乳剤	2000倍(前/2)

●トマト

・葉かび病	アフェットフロアブル ホライズンドライフロアブル	2000倍(前/3)・ダイアメリットDF 2000倍(前/4)・カンタストライフロアブル	1500倍(前/3) 1500倍(前/3)
・灰色かび病	アフェットフロアブル ジャストミート顆粒水和剤	2000倍(前/3)・カンタストライフロアブル 3000倍(前/3)・スミブレンド水和剤	1500倍(前/3) 2000倍(前/3)
・疫病	ホライズンドライフロアブル ベトファイター顆粒水和剤	2000倍(前/3)・ライメイフロアブル 2000倍(前/3)・ダコニール1000	2000倍(前/4) 1000倍(前/4)
・斑点細菌病	カッパーシン水和剤	1000倍(前/5)・コサイドボルドー	1000倍(-/-)
・アブラムシ類	チェス顆粒水和剤 ハチハチフロアブル(劇)	5000倍(前/3)・ダントツ水溶剤 1000倍(前/2)・モスピラン水和剤(劇)	4000倍(前/3) 2000倍(前/2)
・コナジラミ類	ハチハチフロアブル(劇) チェス顆粒水和剤 アルバリン顆粒水溶剤	1000倍(前/2)・ノーモルト乳剤 5000倍(前/3)・モスピラン水溶剤(劇) 3000倍(前/2)・マッチ乳剤	2000倍(前/2) 2000倍(前/2) 2000倍(前/2)
・ハモグリバエ類	ハチハチ乳剤(劇) トリガード液剤	1000倍(前/2)・カスケード乳剤 1000倍(前/3)・スピノエース顆粒水和剤	3000倍(前/4) 5000倍(前/2)
・尻腐病 (展着剤加用)	カルキング ハイカルック	500倍・マイルドカルシウム 300倍・カルハード	500倍 500倍

◎トマト、ミニトマトの注意事項

- ・ハニートーン(マルハナバチ)使用の所は、薬剤散布に注意してください。
- ・花粉が少ない時や天候の関係で花粉量が少ない時には2日に1回付属の花粉を1袋程度の割合で与えてください。
- ・マッチ乳剤、ノーモルト乳剤に、展着剤のスカッシュ 1000倍又はブラボー 1000倍を添加すると効果が安定する。

●イチゴ

・炭そ病	セイビアーフロアブル	1000倍(前/3)・タフパール(微生物)	3000倍(前/-)
・うどんこ病	ラリー乳剤 パンチョTF顆粒水和剤 サンクリスタル乳剤	5000倍(前/3)・アフェットフロアブル 2000倍(前/2)・ベルコート水和剤 600倍(前/-)・ジーファイン水和剤	2000倍(前/3) 4000倍(前/2) 800倍(前/6)
・灰色かび病	アフェットフロアブル	2000倍(前/3)・カンタストライフロアブル	1500倍(前/3)
・ハダニ類	マイトコーネフロアブル ダニサラバフロアブル スパイカルEX(ミヤコブリダニ)	1000倍(前/2)・粘着くん液剤 1000倍(前/2)・スターマイトフロアブル 100~300ml・スパイデックス(チリカブリダニ)	100倍(前/6) 2000倍(前/2) 100~300ml
・アブラムシ類	チェス顆粒水和剤 モスピラン水溶剤(劇)	5000倍(前/3)・サンクリスタル乳剤 4000倍(前/2)・バリアード顆粒水和剤(劇)	300倍(前/-) 4000倍(前/3)

●ナス

・黒枯病	ゲッター水和剤	1500倍(前/5)	・ダコニール1000	1000倍(前/4)
・灰色かび病	ゲッター水和剤	1500倍(前/5)	・スミブレンド水和剤	1500倍(前/5)
・菌核病	ベルコート水和剤	3000倍(前/3)	・カンタストライフロアブル	1500倍(前/3)
・すすかび病	アフエットフロアブル	2000倍(前/3)	・カンタストライフロアブル	1500倍(前/3)
	ダイヤモンド水和剤	1500倍(前/3)	・ストロビーフロアブル	3000倍(前/3)
・うどんこ病	アフエットフロアブル	2000倍(前/3)	・アミスター20フロアブル	2000倍(前/4)
	トリフミン水和剤	3000倍(前/5)	・ベルコート水和剤	3000倍(前/3)
	パンチョTF顆粒水和剤	2000倍(前/2)	・ダイアメリットDF	1500倍(前/3)
・ハダニ類	コテツフロアブル(劇)	2000倍(前/2)	・マイトコーネフロアブル	1000倍(前/1)
(チャノホコリダニ)	スターマイトフロアブル	2000倍(前/1)	・アフアーム乳剤	2000倍(前/2)
・ハモグリバエ類	トリカード液剤	1000倍(前/3)	・プレオフロアブル	1000倍(前/4)
	ディアナSC	3000倍(前/2)	・アフアーム乳剤	2000倍(前/2)
	プレバソソフロアブル	2000倍(前/2)	・ダントツ水溶剤	2000倍(前/3)
・コナジラミ類	アルバリン顆粒水溶剤	3000倍(前/2)	・モスピラン水溶剤(劇)	2000倍(前/3)
	チェス顆粒水和剤	5000倍(前/3)	・ハチハチフロアブル(劇)	1000倍(前/2)
・アザミウマ類	ダントツ水溶剤	2000倍(前/3)	・スピノエース顆粒水和剤	5000倍(前/2)
	ベストガード水溶剤	1000倍(前/3)	・ハチハチフロアブル(劇)	1000倍(前/2)
	カスケード乳剤	2000倍(前/2)	・ディアナSC	3000倍(前/2)

●アスパラガス

・茎枯病	ロブラール水和剤	2000倍(前/5)	・ベンレート水和剤	2000倍(3/4)
	アミスター20フロアブル	2000倍(前/4)	・ダコニール1000	1000倍(前/3)
・斑点病	アミスター20フロアブル	2000倍(前/4)	・ダコニール1000	1000倍(前/3)
・ハスモンヨトウ	カスケード乳剤	4000倍(前/2)	・アフアーム乳剤	2000倍(前/2)
	コテツフロアブル(劇)	2000倍(前/2)	・フェニックス顆粒水和剤	2000倍(前/2)
・アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	5000倍(前/2)	・モスピラン水溶剤(劇)	4000倍(前/2)
	アドマイヤー顆粒水(劇)	5000倍(前/2)	・ダントツ水溶剤	2000倍(前/3)
・ハダニ類	コテツフロアブル(劇)	2000倍(前/2)	・コロマイト乳剤	1000倍(前/2)

・アミスター20フロアブルには、湿展性を高める展着剤(スカッシュ、ブラホ、アプローチBI他)薬害のおそれがあるので使用しない。

●レタス

・べと病	ダコニール1000	1000倍(14/3)	・レーバソフロアブル	2000倍(7/3)
	ライメイフロアブル	2000倍(3/3)	・ヨネポン水和剤	500倍(14/4)
・灰色かび病	アフエットフロアブル	2000倍(前/3)	・ゲッター水和剤	1500倍(7/2)
	カンタストライフロアブル	1500倍(14/1)	・スミブレンド水和剤	2000倍(7/5)
・軟腐病、腐敗病	キノンドーフロアブル	1000倍(21/5)	・スターナ水和剤	2000倍(14/2)
・すそ枯病	ダコニール1000	1000倍(14/3)	・ロブラール水和剤	1000倍(14/3)
	リゾレックス水和剤	1000倍(7/3)	・アフエットフロアブル	2000倍(前/3)
・アブラムシ類、ヨトウムシ オオタバコガ、ナモグリバエ	ジュリボフロアブル	200倍	0.5L/セルトレイ灌注	育苗期後半～定植当日/1
・アブラムシ類	ダントツ水溶剤	4000倍(3/2)	・アルバリン顆粒水溶剤	2000倍(3/2)
	アドマイヤーフロアブル(劇)	4000倍(7/2)	・ハチハチフロアブル(劇)	1000倍(3/2)
・ヨトウムシ類	プレバソソフロアブル	2000倍(3/3)	・トルネードフロアブル	2000倍(7/2)
	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(前/2)	・プレオフロアブル	1000倍(7/2)
・ナモグリバエ	プレバソソフロアブル	2000倍(3/3)	・パダンSG水溶剤(劇)	1500倍(14/3)
	コテツフロアブル(劇)	2000倍(前/2)	・ハチハチフロアブル(劇)	1000倍(3/2)

●ニンジン

・黒葉枯病	ダコニール1000 ストロビーフロアブル	1000倍(7/5)・キノンドーフロアブル 3000倍(14/2)・アリエッティ水和剤	800倍(3/5) 800倍(7/3)
・うどんこ病	トリフミン水和剤	3000倍(前/3)・ベルクートフロアブル	1000倍(14/5)
・菌核病	ベルクート水和剤	1000倍(14/5)・アミスターオブティフロアブル	1000倍(21/2)
・アブラムシ類	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍(30/2)・ジメエート乳剤(劇)	1000倍(7/3)
・ヨトウムシ類	ランネートDF(劇)	1000倍(前/1)・アフーム乳剤	2000倍(前/3)
・ハモグリバエ類	スピノエース顆粒水和剤	5000倍(3/3)・アフーム乳剤	2000倍(前/3)

●こまつな

・白さび病	アミスター20フロアブル	2000倍(7/2)・ライメイフロアブル	4000倍(3/3)
・キスジノキハムシ	アルバリン顆粒水溶剤 フォース粒剤	2000倍(14/2)・モスピラン水溶剤(劇) 4kg/10a(播種前/1)・ダイアジノン粒剤5	4000倍(7/1) 6kg/10a(播種前/1)
・ハモグリバエ類	スピノエース顆粒水和剤	3500倍(14/2)・アフーム乳剤	2000倍(7/3)
・コナガ、アオムシ ヨトウムシ	コテツフロアブル(劇) カスケード乳剤	2000倍(14/1)・スピノエース顆粒水和剤 2000倍(7/2)・プレバゾンフロアブル	3500倍(14/2) 2000倍(前/2)

●チンゲンサイ

・白さび病	アミスター20フロアブル	2000倍(21/2)・ランマンフロアブル	2000倍(3/3)
・軟腐病	スターナ水和剤	1000倍(7/2)・ジーファイン水和剤	1000倍(前/3)
・キスジノキハムシ	フォース粒剤	4kg/10a(播種前/1)・アルバリン顆粒水溶剤	2000倍(3/2)
	ダイアジノン粒剤5	6kg/10a(播種前)・モスピラン水溶剤(劇)	4000倍(7/1)
・ハモグリバエ類	スピノエース顆粒水和剤	3500倍(14/2)・パダンSG水溶剤(劇)	1500倍(7/3)
	トリガード液剤	1000倍(7/2)・カスケード乳剤	2000倍(7/2)
・コナガ	プレバゾンフロアブル	2000倍(前/2)・スピノエース顆粒水和剤	3500倍(14/2)
	パダンSG水溶剤(劇)	1500倍(7/3)・プレオフロアブル	1000倍(7/2)

●キャベツ

・べと病	ライメイフロアブル レーバスフロアブル	2000倍(7/4)・ヨネポン水和剤 2000倍(7/3)・ランマンフロアブル	500倍(7/5) 2000倍(3/4)
・軟腐病	スターナ水和剤 バリダシン液剤5	1000倍(7/3)・ナレート水和剤 800倍(7/5)・ジーファイン水和剤	1000倍(14/3) 1000倍(前/6)
・アブラムシ類	モスピランSL液剤(劇)	4000倍(7/5)・アドマイヤーフロアブル(劇)	4000倍(7/2)
・ハイマダラメイガ (シンクイムシ)	アクタラ粒剤 トルネードフロアブル フェニックス顆粒水和剤 プレバゾンフロアブル	2g/株(育定/1)・アルバリン顆粒水溶剤 2000倍(7/2)・コテツフロアブル(劇) 2000倍(前/3)・プレオフロアブル 2000倍(前/3)・ディアナSC	50倍(定/1) 2000倍(前/2) 1000倍(7/2) 3000倍(前/2)
・ヨトウムシ類	トルネードフロアブル フェニックス顆粒水溶剤 プレバゾンフロアブル	2000倍(7/2)・コテツフロアブル(劇) 2000倍(前/3)・ノーモルト乳剤 2000倍(前/3)・ランネートDF(劇)	2000倍(前/2) 2000倍(7/2) 1000倍(3/3)

・アルバリン顆粒水溶剤は、50倍でセル成型育苗トレイに、0.5L灌注する。

●カリフラワー

・軟腐病	スターナ水和剤	2000倍(14/2)	
・アブラムシ類	モスピラン水溶剤(劇)	2000倍(7/3)・ランネートDF(劇)	1000倍(3/2)
・コナガ	アフーム乳剤 モスピラン水溶剤(劇)	2000倍(3/3)・コテツフロアブル(劇) 2000倍(7/3)・アディオン乳剤	2000倍(3/2) 2000倍(3/5)
・ヨトウムシ類	オルトラン水和剤	1000倍(14/3)・ランネートDF(劇)	1000倍(3/2)

●ブロッコリー

・黒腐病	ヨネポン水和剤	500倍(前/4)	・キノンドー水和剤40	800倍(14/3)
・べと病	アミスター207フロアブル	2000倍(3/3)	・ヨネポン水和剤	500倍(前/4)
	ライメイフロアブル	2000倍(7/4)	・レーバスフロアブル	2000倍(14/2)
・菌核病	カンタストライフフロアブル	1500倍(21/1)	・トップジンM水和剤	2000倍(14/2)
・シンクイムシ類	ダントツ粒剤	0.25g/株(は種/1)	・モスピラン粒剤	0.5g/株(定/1)
	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(前/2)	・エルサン乳剤(劇)	1000倍(21/2)
・ヨトウムシ類	ファルコンエースフロアブル	2000倍(14/2)	・アフーム乳剤	2000倍(7/3)
	コテツフロアブル(劇)	2000倍(7/2)	・ランネートDF(劇)	1000倍(7/2)
・コナガ, アオムシ	プレバゾンフロアブル	100倍	0.5L/セルトレイ灌注	育苗期後半~定植当日/1
・コナガ	トルネードフロアブル	2000倍(14/2)	・アフーム乳剤	2000倍(7/3)
	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(前/2)	・プレバゾンフロアブル	2000倍(3/3)

●はくさい

・白さび病	アミスター207フロアブル	2000倍(7/4)	・ダコニール1000	1000倍(7/2)
・黒腐病	ダコニール1000	1000倍(7/2)	・ストロビーフロアブル	3000倍(3/3)
・べと病、黒斑病	アミスター207フロアブル	2000倍(7/4)	・ダコニール1000	1000倍(7/2)
・アオムシ、コナガ	トルネードフロアブル	2000倍(7/2)	・フェニックス顆粒水和剤	2000倍(前/3)
・ヨトウムシ類	ランネートDF(劇)	1000倍(前/2)	・アフーム乳剤	2000倍(7/3)
・アブラムシ類	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍(3/2)	・ランネートDF(劇)	1000倍(前/2)

●ネギ

・べと病	アミスター207フロアブル	2000倍(3/4)	・アリエッティ水和剤	800倍(3/3)
	ランマンフロアブル	2000倍(3/4)	・レーバスフロアブル	2000倍(7/2)
・黒斑病	アミスター207フロアブル	2000倍(3/4)	・ヨネポン水和剤	500倍(7/4)
	ストロビーフロアブル	2000倍(7/3)	・オンリーワンフロアブル	1000倍(14/3)
・さび病	ラリー乳剤	4000倍(14/3)	・ストロビーフロアブル	2000倍(7/3)
	オンリーワンフロアブル	1000倍(14/3)	・アミスター207フロアブル	2000倍(3/4)
・シロイチモジヨトウ	プレバゾンフロアブル	2000倍(3/3)	・フェニックス顆粒水和剤	2000倍(7/3)
	ディアナSC	3000倍(前/2)	・プレオフロアブル	1000倍(3/4)
・ネギアザミウマ	ディアナSC	3000倍(前/2)	・ダントツ水溶剤	2000倍(3/4)
	ハチハチ乳剤(劇)	1000倍(3/2)	・アルバリン顆粒水溶剤(灌注)	400倍(定/1)
・ネギハモグリハエ	ディアナSC	3000倍(前/2)	・アルバリン顆粒水溶剤(灌注)	400倍(定/1)
	ベストガード粒剤	6kg/10a(定/1)	・ダントツ水溶剤	2000倍(3/4)

※アルバリン顆粒水溶剤 400倍/0.4L/m² 株元灌注・50倍/0.5L/セルトレイ灌注

●わけぎ

・黒斑病	アミスター207フロアブル	2000倍(7/4)	・ロブラール水和剤	1000倍(14/3)
	オンリーワンフロアブル	1000倍(14/3)	・ヨネポン水和剤	500倍(7/4)
・べと病	アリエッティ水和剤	800倍(3/3)	・アミスター207フロアブル	2000倍(7/4)
・さび病	ラリー水和剤	2000倍(7/3)	・アミスター207フロアブル	2000倍(7/4)
・ネギハモグリハエ	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍(3/3)	・アグロスリン乳剤(劇)	2000倍(3/2)
・ネギアザミウマ	アドマイヤーフロアブル(劇)	4000倍(3/2)	・アクタラ顆粒水溶剤	2000倍(3/3)

●カブ

・白さび病	アミスター207フロアブル	2000倍(7/2)	・ランマンフロアブル	2000倍(3/3)
・アブラムシ類	アルバリン顆粒水溶剤	3000倍(3/2)	・ランネートDF(劇)	1000倍(7/2)
・シンクイムシ類	ハチハチ乳剤(劇)	2000倍(7/2)	・エルサン乳剤(劇)	1000倍(30/2)
・キスジノミハムシ	ハチハチ乳剤(劇)	2000倍(7/2)	・モスピラン水溶剤(劇)	2000倍(21/1)
・ヨトウムシ類	ランネートDF(劇)	1000倍(7/2)	・コテツフロアブル(劇)	2000倍(前/2)

●ダイコン

・白さび病	アミスター20フロアブル	2000倍(14/3)	・ライメイフロアブル	4000倍(7/4)
・ワッカ症	アミスター20フロアブル	2000倍(14/3)	・ランマンフロアブル	2000倍(3/3)
・軟腐病	ヨネポン水和剤	500倍(7/4)	・ジーファイン水和剤	1000倍(前/6)
・アブラムシ類	ダントツ水溶剤	4000倍(7/2)	・モスピランSL液剤(劇)	4000倍(14/1)
	アルバリン顆粒水溶剤	3000倍(7/2)	・ランネートDF(劇)	1000倍(7/3)
・シンクイムシ類	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(7/2)	・パダンSG水溶剤(劇)	1000倍(7/3)
	ハチハチ乳剤(劇)	1000倍(14/2)	・ランネートDF(劇)	1000倍(7/3)
・キシジミハムシ	モスピラン水溶剤(劇)	2000倍(14/1)	・エルサン乳剤(劇)	1000倍(30/2)
・コナガ、アオムシ	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(7/2)	・トルネードフロアブル	2000倍(7/2)
	パダンSG水溶剤(劇)	1500倍(7/3)	・プレオフロアブル	1000倍(14/2)

●たかな(マンバ)

・白さび病	アミスター20フロアブル	2000倍(21/2)	・ランマンフロアブル	2000倍(3/3)
・白斑病	ストロビーフロアブル	3000倍(7/2)		
・アブラムシ類	モスピラン水溶剤(劇)	4000倍(7/1)	・アドマイヤーフロアブル(劇)	4000倍(14/2)
・コナガ	スピノエース顆粒水和剤	3000倍(14/2)	・アフーム乳剤	2000倍(7/3)
	カスケード乳剤	2000倍(7/2)	・ノーモルト乳剤	2000倍(14/2)

●ハウレンソウ

・べと病	アリエッティー水和剤	1500倍(前/2)	・レーバスフロアブル	2000倍(7/2)
・アブラムシ類	モスピラン水溶剤(劇)	8000倍(14/2)	・アドマイヤーフロアブル(劇)	4000倍(前/2)
・ヨトウムシ類	ランネートDF(劇)	1000倍(14/4)	・アフーム乳剤	2000倍(3/2)
	カスケード乳剤	4000倍(3/3)	・ノーモルト乳剤	2000倍(7/2)
・アザミウマ類	アドマイヤーフロアブル(劇)	4000倍(前/2)	・ランネートDF(劇)	1000倍(14/4)
・ハウレンソウケナガホコリダ	アフーム乳剤	2000倍(3/2)		
・ハモグリバエ類	カスケード乳剤	4000倍(3/3)	・パダンSG水溶剤(劇)	1500倍(7/2)

●シュウギク

・炭疽病	ストロビーフロアブル	3000倍(14/3)		
・アブラムシ類	アルバリン顆粒水溶剤	3000倍(前/2)	・モスピラン水溶剤(劇)	8000倍(14/2)
・ハスモンヨトウ	カスケード乳剤	4000倍(7/2)	・アフーム乳剤	2000倍(7/2)
・ハモグリバエ類	トリガード液剤	1000倍(7/2)	・カスケード乳剤	4000倍(7/2)
	アフーム乳剤	2000倍(7/2)	・ベストガード粒剤	9kg/10a(3/2)

●ニンニク

・黄斑病	ダコニール1000	1000倍(7/6)		
・さび病	ストロビーフロアブル	2000倍(7/3)	・オンリーワンフロアブル	1000倍(7/3)
・春腐病	アグリマイシン1000	1000倍(7/3)	・コサイドボルドー	1000倍(-/-)
	カッパーシン水和剤	1000倍(7/5)	・バリダシン液剤5	800倍(7/5)
・アブラムシ類	オルトラン水和剤	1000倍(7/2)		
・ネギコガ	オルトラン水和剤	1000倍(7/2)	・トクチオン乳剤	1000倍(14/3)

●なばな

・白さび病	ストロビーフロアブル	3000倍(前/2)	・ダコニール1000	1000倍(21/3)
	ヨネポン水和剤	500倍(14/3)	・ランマンフロアブル	2000倍(3/3)
・黒斑病	カッパーシン水和剤	1000倍(14/3)	・ダコニール1000	1000倍(21/3)
・アブラムシ類	モスピラン水溶剤(劇)	4000倍(14/1)	・アドマイヤー顆粒水(劇)	10000倍(7/2)
	アグロスリン水和剤(劇)	1000倍(7/3)	・パダンSG水溶剤(劇)	1500倍(7/3)
・アオムシ、コナガ	アフーム乳剤	2000倍(7/2)	・コテツフロアブル(劇)	2000倍(7/2)

●未成熟そらまめ

・アブラムシ類	アドマイヤーフロアブル(劇)	4000倍(7/3)	・モスピラン水溶剤(劇)	4000倍(7/3)
---------	----------------	------------	--------------	------------

※野菜除草剤

●ねぎ

薬 剤 名	処 理 方 法	使 用 時 期	10a当たり薬量
ブリグロックSL(毒)	茎葉処理	雑草生育期(播種前・植付前)/3	600ml~1L
バスタ液剤	茎葉処理	雑草生育期(定植前・畦間処理)前日/2	300~500ml
トレファノサイド粒剤2.5	土壌処理	定植直後	4~5kg
トレファノサイド乳剤	土壌処理	定植直後	200~300ml
ゴーゴーサン乳剤30	土壌処理	定植後(定植10日後まで)/1	200~300ml
ゴーゴーサン細粒剤F	土壌処理	定植後(定植10日後まで)/1	4~6kg
ナブ乳剤	茎葉処理	イネ科雑草3~5葉期	150~200ml
セレクト乳剤	茎葉処理	イネ科雑草3~5葉期	50~75ml

●たまねぎ

薬 剤 名	処 理 方 法	使 用 時 期	10a当たり薬量
ブリグロックSL(毒)	茎葉処理	雑草生育期(播種前・植付前)/3	600ml~1L
バスタ液剤	茎葉処理	雑草生育期(定植前・畦間処理)前日/2	300~500ml
トレファノサイド粒剤2.5	土壌処理	定植後	4~5kg
トレファノサイド乳剤	土壌処理	定植後	200~300ml
ゴーゴーサン乳剤30	土壌処理	(移植)定植後 60/1	300~500ml
ゴーゴーサン細粒剤F	土壌処理	定植後 60/1 定植前(マルチ前)/1	5~6kg

●わけぎ

薬 剤 名	処 理 方 法	使 用 時 期	10a当たり薬量
トレファノサイド粒剤2.5	土壌処理	定植直後/1	4~5kg
トレファノサイド乳剤	土壌処理	定植直後/1	200~300ml

●キャベツ

薬 剤 名	処 理 方 法	使 用 時 期	10a当たり薬量
ブリグロックSL(毒)	茎葉処理	雑草生育期(播種前又は植付前)/3	600ml~1L
バスタ液剤	茎葉処理	雑草生育期(定植前又は、畦間処理)45/2	300~500ml
ザクサ液剤	茎葉処理	雑草生育期(定植前又は、畦間処理)45/2	300~500ml
トレファノサイド粒剤2.5	土壌処理	定植3日前(植穴掘前)	4~6kg
トレファノサイド乳剤	土壌処理	定植3日前(植穴掘前)	200~300ml
ゴーゴーサン乳剤30	土壌処理	定植前	200~400ml
ゴーゴーサン細粒剤F	土壌処理	定植前又は定植直後	4~5kg
ナブ乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3~5葉 30/1	150~200ml
セレクト乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3~5葉 30/1	50~75ml
ポルトフロアブル	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3~6葉 30/1	200ml

●ブロッコリー

薬 剤 名	処 理 方 法	使 用 時 期	10a当たり薬量
ブリグロックSL(毒)	茎葉処理	播種前又は植付前・畦間処理(雑草生育期)	1000ml
バスタ液剤	茎葉処理	定植前・畦間処理(雑草生育期) 21/2	300~500ml
トレファノサイド粒剤2.5	土壌処理	定植前/1	4~6kg
トレファノサイド乳剤	土壌処理	定植前/1	200~300ml
ナブ乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3~5葉 7/2	150~200ml

●ニンニク

薬剤名	処理方法	使用時期	10a当たり薬量
ナブ乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3~5葉 30/1	150~200ml
セレクト乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3~5葉 30/2	50~75ml
アクチノール乳剤	茎葉処理	畑地広葉一年生雑草 30/3	100ml

●なばな

薬剤名	処理方法	使用時期	10a当たり薬量
パスタ液剤	茎葉処理	播種前・畦間処理(雑草生育期) 21/2	300~500ml
トレファノサイド粒剤2.5	土壌処理	定植前(移植栽培)/1	4kg
〃	〃	播種直後(直種栽培)/1	〃
トレファノサイド乳剤	土壌処理	定植直後(移植栽培)/1	200ml
〃	〃	播種直後(直種栽培)/1	150~200ml

●ハウレンソウ

薬剤名	処理方法	使用時期	10a当たり薬量
レンザー水和剤	土壌処理	播種覆土後	100~150g
ラッソー乳剤	土壌処理	定植直後	150ml
ナブ乳剤	茎葉処理	雑草生育期イネ科雑草3~5葉	150~200ml

※レンザー使用の場合は、6ヶ月以内はイネ科、ウリ科、アブラナ科は栽培できない。

★花 卉

●キ ク

・黒斑病、褐斑病	ダコニール1000	1000倍(-/6)・ベンレート水和剤	2000倍(-/6)
	ストロビーフロアブル	2000倍(-/3)・ジマンダイセンフロアブル	500倍(-/8)
・白さび病	ラリー乳剤	3000倍(-/5)・ジマンダイセンフロアブル	500倍(-/8)
	チルト乳剤	3000倍(-/3)・ピリカット乳剤	1000倍(-/6)
	アミスター20フロアブル	2000倍(-/5)・ストロビーフロアブル	2000倍(-/3)
・アブラムシ類	アドマイヤーフロアブル(劇)	2000倍(-/5)・トクチオン乳剤	1000倍(-/5)
	ダントツ水溶剤	4000倍(-/4)・ハチハチ乳剤(劇)	1000倍(-/4)
・ハダニ類	ダニサラバフロアブル	1000倍(-/2)・コテツフロアブル(劇)	2000倍(-/2)
	スターマイトフロアブル	2000倍(-/1)・カスケード乳剤	2000倍(-/3)
・ヨトウムシ類	フェニックス顆粒水和剤	2000倍(-/4)・ライトニングフロアブル	2000倍(-/4)
	プレバソフロアブル	2000倍(-/4)・プレオフロアブル	1000倍(-/2)
・ハモグリバエ類	トリガード液剤	1000倍(-/4)・アフーム乳剤	1000倍(-/5)
	カスケード乳剤	2000倍(-/3)・ダントツ水溶剤	2000倍(-/4)
	スピノエース顆粒水和剤	5000倍(-/2)・カルホス乳剤(劇)	1000倍(-/4)
・アザミウマ類	アドマイヤーフロアブル(劇)	2000倍(-/5)・ダントツ水溶剤	2000倍(-/4)
	カスケード乳剤	2000倍(-/3)・コテツフロアブル(劇)	2000倍(-/2)
	オンコルマイクロパセル(劇)	1000倍(-/3)・スピノエース顆粒水和剤	5000倍(-/2)

・除草剤 アグロマックス水和剤 200~400g/100L/10a(定植後雑草発生前/1)

●カーネーション

・斑点病	ポリオキシシンAL水溶剤	1000倍(-/5)・ダコニール1000	1000倍(-/6)
・ハダニ類	カネマイトフロアブル	1000倍(-/1)・ペンタック水和剤	1500倍(-/-)
	ダニサラバフロアブル	1000倍(-/2)・モレスタン水和剤	1000倍(-/-)
・アブラムシ類	ロディー乳剤(劇)	1000倍(-/6)・アドマイヤーフロアブル(劇)	2000倍(-/5)
・ヨトウムシ類	アフーム乳剤	1000倍(-/5)・ノーモルト乳剤	2000倍(-/2)
・アザミウマ類	プリンスフロアブル(劇)	2000倍(-/5)・スミチオン乳剤	1000倍(-/6)

●バラ

・うどんこ病	ポリオキシシロ水溶剤 ラリー乳剤	2500倍(-/5)・トリフミン水和剤 4000倍(-/5)・アンビルフロアブル	3000倍(-/-) 1000倍(-/7)
・黒星病	ダコニール1000 ラリー乳剤	1000倍(-/6)・サルバトールME 4000倍(-/5)・フルピカフロアブル	3000倍(-/7) 2000倍(-/5)
・アブラムシ類	ダントツ水溶剤	2000倍(-/4)・アルバリン顆粒水溶剤	2000倍(-/5)
・ハダニ類	カスケード乳剤 ダニサラバフロアブル	1000倍(-/3)・粘着くん液剤 1000倍(-/2)・ペンタック水和剤	100倍(-/6) 1500倍(-/-)
・アザミウマ類	ダントツ水溶剤 カスケード乳剤	2000倍(-/4)・ベストガード水溶剤 2000倍(-/3)・プリンスフロアブル(劇)	1000倍(-/4) 2000倍(-/5)

■液状複合肥料 『モーニングルチン』

海藻エキスとルチンの働きで、光合成を促進し、品質を高めます。

- ◎主成分 窒素全量2%(海藻エキス)、りん酸8%、加里3%、マンガン0.1%、ほう素0.4%、ルチン9%以
りん酸コリン(発根促進)
- ◎特長 リン酸、加里成分の肥効により以下の効果が得られます。
 1. 光合成を促進し、開花、着果がよくなります
 2. 果実の肥大、充実がよくなります
 3. 果実の着色、糖度の向上し、品質が高まります
- ◎対象作物 苺、トマト、ミニトマト、ナス、キュウリ、ピーマン、花卉など作物全般
- ◎使用方法 葉面散布－2000倍液を10a当たり100～150Lを2週間間隔で3～4回散布する
- ◎商品形態 550g

■植物根生育促進剤 『育王』

不思議なほどに根が伸び、根が増える！

- 成分 主原料：低分子核酸
- 応用範囲 野菜類、葉菜類、果物、水稻、茶樹、花卉、芝生など
- 効果
 - 育苗管理 根量が増え、健苗が育成されるので定植時の根傷みが軽減されます。
 - 成り疲れ防止 根の活力を復活させて成り疲れを回復し収穫量、品質を安定させます。
 - 品質向上 養分の吸収バランスが良くなり、糖度アップ、充実肥大、鮮やかな色艶等の効果が得られ
 - 被害回避 根の活力が旺盛になりますので、作物が健全に育成し病害虫に対し抵抗力が増します
- 施用方法 既にある根の組織に直接接触させることが必要です(葉面や茎の組織からは吸収されません)
土中への灌水、灌注や苗のドブ漬け、または、水稻育苗、ポット育苗での散水で使用する。
- 希釈濃度 10a当たり『育王』1kgを1000倍以上に希釈してください。高濃度で施用するより
水量を増やし根との接触の機会を高めることが、より効果のある使い方です。
- 商品形態 1L、5L、10L

■酵母から生まれた肥料 『豊作物語』(アサヒ)

- ◎主成分 酵母細胞壁分解物他(窒素…0.2% 水溶性りん酸…0.8% 水溶性カリ…0.6%)
- ◎効果 病害虫抵抗性の増大、光合成促進、発根促進、養分吸収の促進、開花・結実の促進
- ◎対象作物 苺、トマト、ミニトマト、ナス、キュウリ、ピーマン、花卉など作物全般
- ◎特徴 植物体内でワクチンのような役目をしてバクテリア系の病害虫抵抗性を高めたり、植物を
活性化させて発根を促したりする働きがある。
- ◎使用方法 灌水－10a当たり原液換算で500ml
葉面散布－1000倍液を10a当たり100～150L散布
- ◎商品形態 1L、5L

■光合成促進！！ パワーチャージ(アミルプリンV配合)

◎特徴 葉色維持、収穫向上、なり疲れ、塩類集積障害の軽減に効果が期待されます。

5-アミルプリン酸は、天然アミノ酸の一種で、植物の葉や茎に含まれる葉緑素(クロフィル)に変わっていく光合成に関する重要な成分です。その生成量は、植物によってコントロールされ、必要以上には生合成されません。5-アミルプリン酸を施用することで植物の活性が高まり、水や肥料の吸収が向上し、生育がよくなるのが各種の試験で確認されています。

○希釈倍数と施用方法

施用方法	効果を発揮する倍数	10a当たり散布量	施用間隔(週)
茎葉散布	2,000~10,000倍	300L	1~2回/週
土壌散布	5,000~20,000倍	600L	1~2回/週

対象作物

果菜類 イチゴ、トマト、キュウリ等

鉢物 プリムラ、シネリア、ベンジャミン他

葉菜類 ホウレンソウ、コマツナ、レタス等

その他 ジャガイモ、芝、茶樹、水稻の育苗等

花卉類 キク、バラ、トルコキキョウ等

果樹類 カンキツ、ブドウ、リンゴ等

■豊かな稔りを約束するメイトーサンホスト(リン…30% カリ…16% マグネシウム…9%)

リン酸の吸収と移動に関係する重要な要素であるマグネシウムを配合することで、リン酸の働きが倍増されます。またカリを配合して炭水化物の生成に大きく影響し、すばらしい効果が期待できます。

◎使用方法

対象作物	散布目的	散布時期、濃度
果菜類(苺、キュウリ、トマト、ナス等)	マグネシウム欠乏による着果不良 光合成の増進、品質向上、徒長防止	定植後5回以上 500~600倍
葉菜類(レタス、キャベツ、ハクサイ等)	生育促進	定植後3~4回 1000倍

※カルシウム剤を含有する剤とは混合しないでください(凝固)

■カルシウム欠乏による生理障害に“ハイタックC”

○有機酸カルシウムにコリンをバランスよく配合しはニュータイプの速効性液体カルシウム肥料です。

○有機酸カルシウムの中には最も水に溶けやすく、コリンと共に植物への浸透吸収に優れたカルシウムの肥効を最大限に発揮させます。

○カルシウム欠乏症の予防のほか、コリンによる健全な生育が期待できます。

対象作物	散布目的	散布時期、濃度
果菜類(苺、トマト、キュウリ、菊)	果実軟化防止、尻腐れ、葉先枯れ、カルシウム欠乏症	10~14日間隔 500倍

※リン酸肥料との混用はしないでください。(凝固)

農業ニュース H23年11月号

新規登録

・シナジオ乳剤 (9/28付) (トリアノサイド+IPC)	小麦	一年生雑草	300~400ml/10a	は種後出芽前/1
	大麦	一年生雑草	300ml/10a	は種後出芽前/1

登録拡大・変更

・クリアザールフロアブル (8/24付)	「トマト、ミニトマト」のコナジラミ類の希釈倍数を「2000～4000倍」に変更する トマト、ミニトマト トマトサビダニ	2000倍	前/2
・アーデント水和剤 (8/24付)	小粒核果類 ハダニ類 パセリ ネギアザミウマ	1000倍	前/3 7/3
・アミスター207フロアブル (8/24付)	かぶ 白斑病	2000倍	7/2
・ハチハチ乳剤 (8/24付)	茶 ツマグロアオカスミカメ	1000倍	14/1
・ディアナSC (9/7付)	トマト、ミニトマト アザミウマ類、コナジラミ類 トマト、ミニトマト ハスモンヨトウ いちご ハスモンヨトウ なす ハスモンヨトウ、ハモグリバエ類 キャベツ オオタバコガ ねぎ シロイチモジヨトウ レタス オオタバコガ、ハスモンヨトウ 非結球レタス オオタバコガ、ハスモンヨトウ 茶 チャトゲコナジラミ	2500倍 2500～5000倍 2500～5000倍 2500～5000倍 2500～5000倍 2500～5000倍 2500～5000倍 2500～5000倍 2500～5000倍	前/2 前/2 前/2 前/2 前/2 前/2 前/2 前/2 7/1
「なす、ねぎ」の希釈倍数を「2500～5000倍」に変更する			
「キャベツ」のタマナギウワバを「ウワバ類」に変更する			
「ねぎ」のネギアザミウマを「アザミウマ類」に変更する			
「レタス、非結球レタス」のナモグリバエを「ハモグリバエ類」に変更する			
・アミスター107フロアブル (9/7付)	いちじく 黒葉枯病	1000倍	前/3
・アフエットフロアブル (9/28付)	ピーマン 黒枯病 「ピーマン」うどんこ病の希釈倍数を「2000～4000倍」に変更 ぶどう うどんこ病、褐斑病	2000倍 2000倍	前/3 7/3
・フロンサイドSC (9/28付)	ブルーベリー 白紋羽病(土壌灌注) てんさい 黒根病(株元散布)	500倍	50～100L/樹 21/1 30/3
・プレオフロアブル (10/12付)	豆類(未成熟) ハモグリバエ類	1000倍	前/2
・アディオン乳剤 (10/12付)	樹木類 ケムシ類、アブラムシ類 花き類 アブラムシ類 「はぼたん」の使用回数を「1回」→「6回以内」に変更する トレビス アブラムシ類	4000～8000倍 2000～4000倍	-/6 -/6 7/3
・オーソサイド水和剤80 (10/12付)	セルリー 葉枯病	600倍	21/3
・ストロビーフロアブル (10/12付)	おおさきな 黒斑病	3000倍	前/2
・ジマンダイセン水和剤 (10/12付)	ねぎ べと病、さび病、黒斑病	600倍	14/3
・コテツフロアブル (10/12付)	ぶどう モンキクロノメイガ かんきつ カネタタキ、スグリゾウムシ すいか ハダニ類、オオタバコガ 茶 チャトゲコナジラミ	2000倍 4000倍 2000倍 2000倍	14/2 前/2 前/2 7/2
「きゅうり、トマト、ミニトマト」の総使用水数を「2回以内」→「3回以内」に変更			